

■ひよし防災訓練

10 月 20 日(日)、防災連合会主催(共催:区長会・連協、後援:富里市)のひよし防災訓練が開催されました。テーマは、『大地震 その時あなたは動く! 地震発生から避難所運営までの行動』です。当日は、午前 9 時 00 分、富里地域に震度 6 強の地震が発生したとの想定で行われました。参加世帯数は約 800 世帯(白いタオルの確認数)で、対象世帯数の 27%でした。

地震発生時はその場で身の安全を確保し、自身と家族の安全を確認した後、玄関ドア付近に白いタオルを掲出します。その後、各自治会の一時避難場所へ避難し、自治会の初動対応訓練を行いました。10 時 30 からは小学校の体育館で避難所運営立上げの訓練を行いました。避難所運営では、総務班、物資班、衛生班などの担当班を設定して行動しました。大きな特徴は救護所を設置し、実際の医療資格者も参加したことです。捻挫、擦過傷、脱臼などの症状を想定した模擬治療も行いました。

防災連合会副会長兼救護所責任者の鎌田氏は、東日本大震災と熊本地震で、看護協会派遣の支援ナースとして救護活動に参加した経験をお持ちです。その際、現地の人から「訓練をしないのは災害だ」と聞き、訓練の大切さを痛感したとのことです。鎌田氏から、災害時に知っておきたい 3 つの点についての紹介がありました。詳しくは検索してください。



鎌田氏

- ・クラッシュ症候群 タンスなど重いものに挟まれて 1-2 時間以上経過した場合、そのタンスをいきなり撤去すると重篤な症状を引き起こし、時には死に至る症例。このときは、救助を要請し、水を 1.5 ㍓以上飲ませながら、救助を待つ。
- ・正常性バイアス 「自分は大丈夫」「自分には起こらない」という、心の安定を保つために働く心理で、災害時には、危険だと認識せずに逃げ遅れてしまうなどマイナスに働くことがある。
- ・同調性バイアス 隣の人、周りの人が逃げていないから大丈夫だと思ってしまうこと。逆に、自分は危険を察知していないが、周りが逃げているから自分も、という心理が働き、避難するという良い点もある。

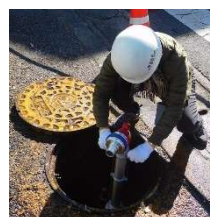


各自治会の一時避難場所



【その他の防災活動】

防災連合会では、上記防災訓練のほか、12 月 21 日にはコミセンにて AED 講習会を、1 月 18 日には第 7 公園にてスタンドパイプによる消火訓練を実施しました。いずれも、富里市消防署の支援を頂き、前者は 15 名、後者は 40 名が参加しました。



連協ニュースは、富里市 HP で閲覧できます。富里市 HP で、「日吉台連協ニュース」で検索し、表示された画面を下にスライドさせると連協関係の情報欄が現れます。

■富里北中学校“TOMIKITA MUSIC DAY”

10月24日(木)、富里北中の TOMIKITA MUSIC DAY が北中体育館で開催されました。今年度から地区社協の「地域福祉フォーラム」の一事業となっています。午前の部は北中合唱祭で、学年ごと、男声、女声、そして全校生徒による合唱の発表がありました。また、日吉台小学校 5、6 年生児童による合唱もありました。児童・生徒の皆さんは緊張しつつも、日ごろの練習の成果を存分に発揮していました。午後の部は、富里高校ジャズオーケストラ部の生演奏が披露されました。午前中の緊張が解け、リラックスして楽しそうに聴き入っていました。



■日吉台小学校第 30 回ふれあい祭り

10月26日(土)、日吉台小学校にて、小学校および PTA 主催によるふれあい祭りが開催されました。これは、児童・先生・保護者および地域の住民との交流を目的としたものです。体育館には、バザー、射的、伝承遊び(羽子板、独楽...)コーナー、中庭には焼きそば、おにぎり、くじ引きなどが出店され、皆さん、思い思いに楽しんでいました。



■ひよしグリーンロード再生会

ひよしグリーンロード再生会は、大通りの植樹樹の花壇の花植えやヤマボウシの剪定などを行っています。最近では東南アジアからの技能実習生の応援も得て作業をしています。再生会としても助かりますが、彼らにとっても一般の日本人との交流は良い経験になっているようです。

